

有明高専だより

第29号

有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

Tel 09445 ③ 1011

印刷・西田印刷所

転換期にさしかかった高専

教務主事 下村 龍太郎

高専制度が発足してやがて15年になる。その間に社会情勢も大きく変化した。反省すべき点は大きい反省しようという気運が高まってきたことは当然なことである。

そして高専教育改善特別委員会や教育課程調査等が組織され、種々の角度から検討されてきた。

さしあたって改革の方向に動いている教育課程に対しては、調査会の最終的まとめが提出され、それ

に従って大きな転換をすることにならうのである。その主要な理由

となるといいを要約すると、

一、今後高等専門学校の発展を期すためには各校が時代の進展に即応して教育内容に独自の創意工夫を生かし得るよう、教育課程の其準については、より許容度のある弾力的なものとする。

二、授業時間が過多にならないよう配慮する。そしてそのためには力低下がおこらないよう、授業料の検討をし、内容を精選する。

三、学年制の利点を損なうことなく、よしとし単位制をとり入れる。また必要に応じて選択制を取り入れることができるようにしておく。総体的には各学校が独自の工夫をしてそれぞれの特色を發揮するようになる。

以上のようないふだある。

君は健康か？

学生主事 樋口 大成

さて、このような視点に立って、このようにして困難な問題が山積する。まず、もともと矛盾する学年制と単位制を両立させることができるかということである。やはり方によては学生にはかえってきひいものになることが予想される。そして早退問題になると、進級規程をどうするか、留学生の前年の不合格科目をどうするかなどである。大学の場合は単位制でこれらの点を割り切ることができるが、高専では、それでも低学年では指導の面で難渋することが目に見えている。

学力低下を避けることができるかといふところになると、確かに、少い施設、教官で、それで低学年では指導の面で難渋することが目に見えている。

さて、この方向に踏み出せ

るだろか。

したがつた改革の苦しみも悩むも

学生諸君の学習意欲の向上があり

あれば、一挙に解決すること

になるのだが……。技術者になる

といつて明確な目標のもと、確信を

もつて高専を選んで来た学生、そ

こまで行かなくても学校は勉強す

るといふだといふ自覚をもつてい

る学生は問題はない。勉強よりも

バイクや深夜放送により多くの興

味をもつ、生活をエンジョイする

ことだけに終始している学生、資

質的にどうしてもついて行けそ

はない学生にどう対処するかが問

題である。高等教育であれば卒業

章で、これを読まされるのは、当

時の下等小学校七歳の子供を対象

わら、この文は七歳の子供を対象

に書かれたものであった。

これは明治七年八月・文部省

発行の「小学読本」巻一の中の文

題である。高等教育であれば卒業

章で、これを読まされるのは、当

時の下等小学校七歳の子供を対象

わら、この文は七歳の子供を対象

に書かれたものであった。

「悪いことをしていないのに撲ら

れた」となれば、ひがみたくもな

るだろう。この罪悪感の欠陥は、

ひとつの文明病なのである。

おいしい食べ物、楽な乗物に慣

れて、それが当然化しているため

感觸の心を失っている。そして、

少しのことで、いつも不平ばかり

が先に出て、不平からストレスが

溜り、何でも、世の中が悪く、何

でも学校が悪いのだ。だから遅刻

に遅刻してくることがある。私はそ

の度に授業をやめようかといふ衝

動に駆られる。講義を始めると、

ぱつぱつ、次々と入ってきて不快

この上ない。そして遅刻の非につ

いてお説教するわけだが、学生の

方に罪悪感がないので、さっばり

噛み合わない。

現在、町に学習塾が流行してい

るが、遅刻すると生徒の男女を

問わず、背を竹刀でアシテる塾が

ある。すると、生徒は遅刻しまい

と必死になるし、遅刻したら竹刀

を貰っている。塾をやめるよと

言つてみると、いやだと云う。

どうして本校でこれが通用しないのだろう。何故だか私は諸君を

問わず、背を竹刀でアシテる塾が

ある。すると、生徒は遅刻しまい

と必死になるし、遅刻したら竹刀

を貰っている。塾をやめるよと

言つてみると、いやだと云う。

遅刻する奴には試験の点数を引

こすと決めたことがある。ところ

が試験のあと、引くぞりか、足

さなきや遅ぼれぬケースが多い。

そのため、逆に結果はよくない。

とか、紳士になつたのではなくて

何やら悲しいのだ。学生の方が、

弱々しく讀じて「学校やめな」と

そのため、逆に結果はよくない。

「あの先生は、おどかすだけさ

」
「講君は自分が重症か、輕症か、

復したのである。その謙虚な心で

もう一回、はじめに挙げた、七歳

のときの心で、親や

世の中への感謝の心、謙虚な心が

向きの文語体を読み返してみ給え



が昭和50年度末に完成した。ここに至るまで、関係者はそれの立場から、よりよいエ・ルを作のため、努力して来たが、新しい調整室やベースを見て、先是は一安心といつておられた。顧みると、いわゆる石油ショックのため、当初の計画は大幅に縮小されることになつたが、それでも、当地区唯一の立派なエ・ルが出来たことは喜びしいことである。

讀を重ね、意見の調整を計って来たので、殆んど問題は無かった。そして、この間、學校當局の配慮もあって、外國語関係各教官は、學会の相間や休暇中を利用して、手分けして、各地のL・L・施設及び授業を參觀し、具体的に問題点を検討出来たことは幸であった。

特に福岡近郊には、L・L・教育の分野では全國的に先駆的な役割を果している福大、西南學院大、九大、久留米高専等があり、何かにつけ、再三上記の學校を訪問し

らぬ様、多少の試行錯誤に、効率的なL・L・L努力しなければならない時期は将来に忘れてはならない。(P)

編入学制度に踏み切る

有明高尙
編入
工業高校から高尙への編入学について、かねて工業高校生に対する門口開放として論議されて来た。九州地区では大分高尙が三年前から実施し、「在校生に対する刺繡にもなる」など肯定的意見も出ていた。
本校では、このほど昭和52年度からぬ様、多少の試行錯誤を恐れず、効果的なL・L・の運営のため努力しなければならない。本当に難しい時期は将来にあることを忘れてはなるまい。(品川記)

講師の英会話授業の基礎から生徒が工夫する必要がある。native speaker は native speaker の出でたる、5 年度は 1・2 年生対象で、發音を身につけ訓練から始めた。授業開始以来まだ日が浅く、その成果を具体的に指摘するのはまだ至らないが、学生達は予想以上に興味深く、授業に参加している。何より嬉しい。native speaker の美しさで発音を意識し、抽選で上手に真似をひこむ学生を中心とする。また、通じて発音する時は、歯などのがいわれやかな音を感じるものである。

父兄懇談會

父兄懇談会が7月16、17の両日開催された。前期中間試験の成績が提出されたところ、学校と家庭との連絡を取り合うのがこの懇談会の主旨である。父兄どちらが担任教員との話し合いが一日に亘って行われ、また両日とも12時一時間、視聴覚室で三主事からそれぞれ分掌事項について父兄に説明が行われた。

教務主事は校内の一般的な説明をし、特に今年度の課題については学習意欲の向上について父兄の協力を要請した。

学生主事からは数年の特徴として、バイクによる交通事故が多く、特に二年生に自立のこと、喫煙の悪習を身につけなかった。

算集学科は、機械、電気、工芸、建築の四学科で、受入れ年数はいずれも若干名。編入学年第四学年である。願書は8月25日から8月10日まで受け付けられ、面接は8月25日から8月26の両日実施される。

いと思われる
て喫煙の防止
が訴えられた
供が高専でむ
じしているから
おかしい、子
する気持がぼ
の時間を設け
に努力してい
に聞すること
あと父兄から
その中で特に
てほしいとい
このような催
つたよ(であ
教務主任事)

は、多くの友達なものでした。自由に自分の気持ちで話し合ったり、たぶん、友達が知りたいだけだけしか知らない、何かだけだった友達の良さを、本当にいいことに、また自分の喜びを、また友達がでたら、それがどうでもいいのかどうか、それが少ないのかどうか、達ができるかどうか、したが、オリエンテーションをきかなければ、学校生活の中で、情報を深めていく必要があります。

「一番よがったどん」と心が通じ合えた時間にはこれからいつまでも学校生活などについて語り合いたいと思いました。今まで表になかった友達の喜びや悲しみ、自分が知らないことを発見するのもまたと思いました。今まで表に自分に合うよい友との出会いや悩みを聞いてくらべることも大きな心配になりました。高専は女性ばかりになってしまふのを防ぐために、これから自分の心配していくよ」と、友達といつも一緒にいることを希望しながら、将来的な目標を述べました。

二つ、今まで新入生の入学直後に実施していたのを、入学後月経について尋ねる。可

2、全般の省会(本部会)で
3、クラス別対抗スポーツ

4、クラス練をはずしたスポーツ

学生の感想文から

そして語していくうちに、少しずつ理解の輪郭が現れてくる。それが、自分との共通点として見つけられるものだ。

なびいた。

として遡り会った。そして、五年間一緒に笑ったり、泣いたり苦しかったらしく人生の二つの過程を辿りたがる。そういう人間の生涯をもたらす。そういうふうに人生を再認識の不思議で、おもしろい再認識のことができ、またそうしたことによってお互いの心をつみ隠すことに話すことができた。最初の日の夜、私達は深夜まで真の意味の友達、眞の意味の友情の在の方

オリエンテーション

旅天草青年の家

二つ。今まで新入生の入学直後に実施していた反省会を、入学後一ヶ月経った五月中旬に變えたこと、阿蘇青年の家を、天草青年の家に変えたことである。

単刀直入に、参加された教官で実施した反省会から来年のためのメモを示すことにしておきたい。

一、学生間の親睦が主目的なら入学直後が良いが、研修が主目的ならば五月中旬は適当のようだ。

研修テーマは、入学後一ヶ月の間にには、そのつりになれば多く見つかる。むしろ、テーマが豊かになり、討論が多くに過ぎる傾向を止めやすいので、キャンドルの集いぐらいは必要である。

二、天草は定員三百名だから、阿蘇の定員四百名にはいり込む混雑に比べて、はるかに落付いていて宜しい。また、本校以外に他団体が四十名ぐらいというのも、本校学生にとって適當な刺激である。

三、修学旅行も各科別になった現在、四科合同はこれが最初で最後だから崩さぬ方がよいが、四

13 10 9 9 5 19 10 9 5 19 14 12 9 5 | 6、連続等を、もしたじ四、そ
00 50 40 00 5 30 30 00 5 30 00 30 30 5 | ブ(姫
生は健康の指導をこんだ

学生の感想文から

うものを見つけていくことがで
た。
E 浦野 俊雄
もう研修の行事をほとんど了り
てしまつた。友と楽しく食事
したり、風景にもはいつた。
彼らから体力をつけるため、き
かつたが自然に親しみがで
たハイキングもあつた。たまた
ま少しの時間しか居てないの
じこがどうにも以前から知つてい
よつて思える。不思議なものだ
さつきのべたようになりふらな
事があつたが、思つことばり
イングのことである。今まで経験
のないものなどときどき見た
みんな真剣な顔である。「ハイ
議長意見」、「ハイ! 反論な
と声がどよ。これがクラスだ
つた。

さすに話すことができた。最初の日の夜、私は深夜まで眞の意味の友達、眞の意味の友情の在り方男女間の眞面目な恋愛などについて、語り合うことができた。私にとってそうした事は、これからの人生について二つの大きな支えとなるものであつて、また自分の成長の証拠を確信することができたという、とてもプラスになるものだったと思う。翌日は数人の先生方や職員の方に叱られたりもしたが、私はこうして素直な気持ちで話し合える。そういう契機になつた有明高専入学をほんとうに良かつたと思うし、最初に言われた、この青年の家で何かを取得して帰るという事ができたと思う。私はこれからも、こんな素晴らしい思い出を心の奥に秘めて、自分自身の向上に、また人間についての一つの客観的見方、また人間同志のきれいな結びつきなどを考えて一生懸命努力して、悔いの残らないような高専生活、また人生を送るうと心に決めた。

図-1 総合実習センター平面図 (mm)

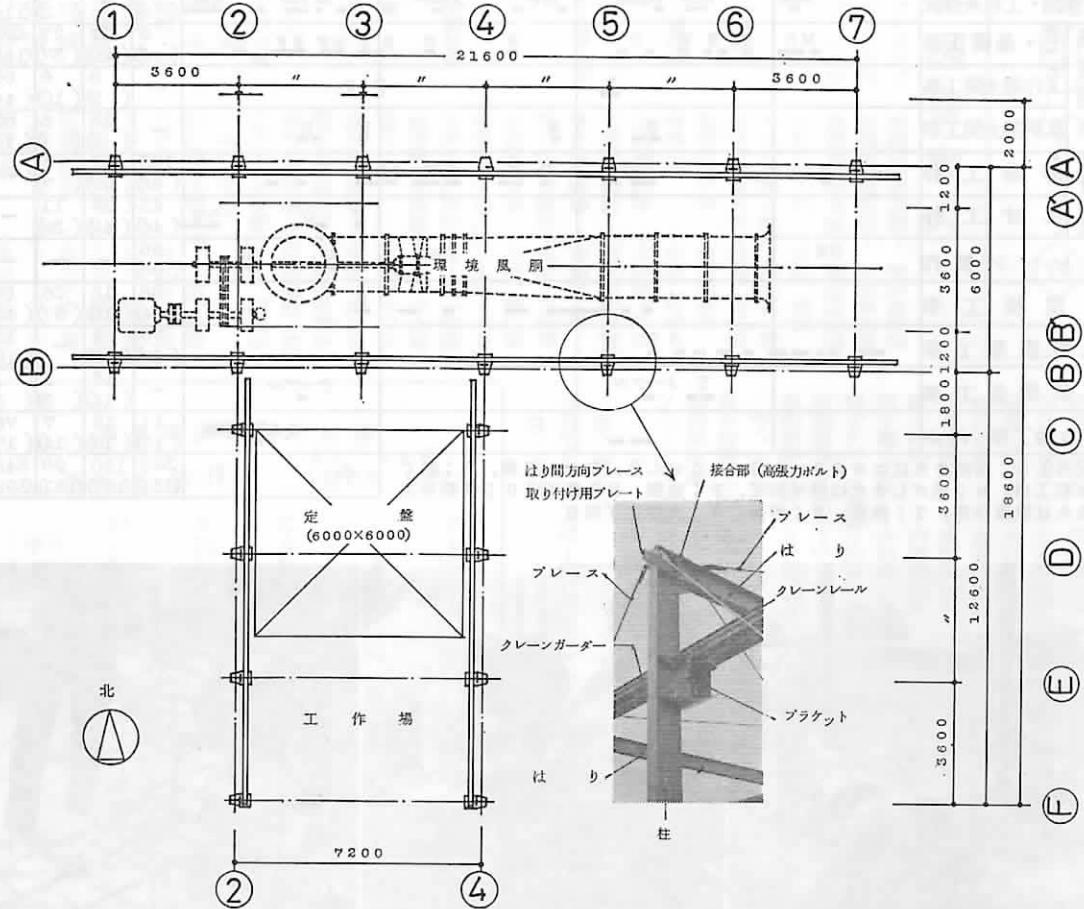
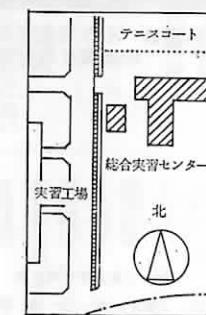
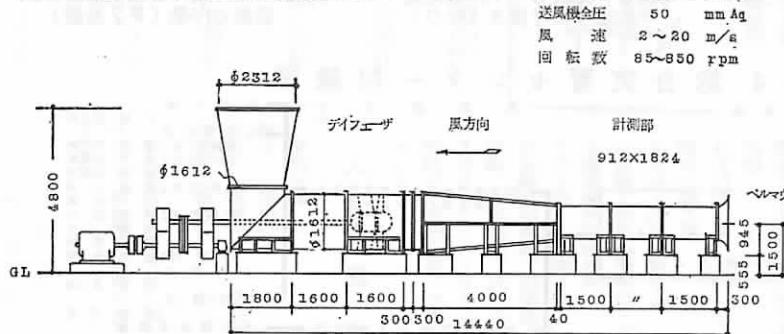


図-2 配置図

図-3 環境風洞立面図 (mm) 口 径 $\phi 1600$ 風 量 $1950 \text{ m}^3/\text{min}$



昭和 51 年 8 月 15 日 有明高専だより

一 及び環境風洞の構造概要について
総合実習センターの位置は、図-1・図-2に示すように、実習工場横の東側のテニスコート横に設置されている。と言つても、現在のところ上屋のない工作場に定盤が埋付けられ、小形の門型クレーンが設備されていられるに過ぎない。しかし、近い将来には、工作場および風洞計測部などに、上屋が架けられる予定である。環境風洞は、工作場に隣接して設置され、その平面図は図-1・図-3に示すようなN-P-L型式のもので、計測部は長方形断面である。また風洞部には、工作場門型クレーンと同型式のクレーンが設置される計画と

総合実習リポート(1)



を示している様に、各学科のカリキュラムに応じ美習・実験及び演習を対象にして時間数・実習者数を配当している。従つて時間割は学科・学年により異なっているが、この表を毎週作成し、それに基づき実施してきた。しかし、実際はなかなか予定通りには進まず、その結果は表-2に示す様に、実習

この間の実習経験をより省むる。工事の進捗状況は決して順調なものではなかったが、前号で説明した総合実習の第一目標である、「工事から基礎へ」という当初の目的は予期した通りの教育効果が得られている、と確信している次第である。

(記 建築・玉野)

表-1 総合実習週間予定表（例）

(通常日) 実習月日 (曜) (天候)		(51) 6 / 28 (月) (晴, 曇, 雨)	(52) 6 / 29 (火) (晴, 曇, 雨)	(53) 6 / 30 (水) (晴, 曇, 雨)	(54) 7 / 1 (木) (晴, 曇, 雨)	(55) 7 / 2 (金) (晴, 曇, 雨)	(56) 7 / 3 (土) (晴, 曇, 雨)
時限		5 6 7 8	5 6 7 8	3 4 5 6	5 6 7 8	5 6 7 8	1 2 3 4
実習項目	学年・学科 (数)※	5E (4) → X 5G (4) → 5A (5) → 3C (3) →	1-5M (4) → 1-5A (3) → 1-5M (4) → 1-5A (3) →	1-3M (3) → 5 6 7 8 1-4E (3) → 1-4C (4) → 1-3A (3) →	1-4M (4) → 1-4E (3) → 1-4C (4) → 1-3A (3) →	1-5A (5) → 1-3M (3) → 1-3E (3) →	1-5M (4) → 1-4A (6) →
実習内容							
工作図・工程表作成				5A (3)			
基礎関係	土・基礎工事					M, E → 5A (5) →	E → 4A (6) →
	工作場土間工事				F → 4C (2), 3A (3)		
	風胴部土間工事						
鉄骨	部品 接合部品	C, D → 5C (1), 3C (1)					
	工作 プラケット	G, T → 5C (1), 3C (1)		G, T → 3M (3)		G, T → 3M (1), 3E (2)	
関係	部材 柱	K → 5M (4)		K, C, W → 5M (2)	K, C, W → 4M (2)	K, C → 3M (2), 3E (1)	K, C, W → 5M (4)
	工作 はり						
クレーン製作							
仮屋根工事	S → 5A(5) 5C(2) 3G(1)	S → 5A (3)					
電気関係工事					4E (3)		

注) *: M, E, C, Aはそれぞれ機械、電気、工化、建築、数字は学年、△は実習学生数を表す。×印は行事のため欠席。***: C・D・断続、D-: サイド

E : すき取りり、根切りり、F : 剥ぐり石地盤、G : 返り取りり、K : け書き、M : 磨かせり、S : 鉄筋加工または設置、T : 檢査、W : 清掃

有明高専だよ

昭和 51 年 8 月 15

表 - 2 総 合 実 習 経 過 表

実習経過(月)	4			5			6			7			延実習者数(延時数)								
	12	20	28	4	12	20	28	4	12	20	28	4	12	20	28	機械	電気	工化	建築		
実習項目 (日)	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	111111111111111111	14 (9)	1 (3)	76 (14)	76 (14)		
工作図・工程表作成	基礎	部品	仮屋根	部材	工程表	-	原寸図	-	骨組	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
基礎関係	土・基礎工事	M S	S E M S	S	S	E	F E F F	E F	C	-	-	-	-	-	6 (6)	37 (29)	27 (37)	492 (148)			
工作場土間工事			E				F	F		-	-	-	-	-	5 (9)	6 (10)	50 (44)				
風胴部土間工事			E	E			F	E		-	-	-	-	-	13 (2)	6 (1)	83 (13)				
鉄骨関係	部品工作	M	G	C C	D W	C D W	R	-	-	133 (86)	31 (27)	3 (7)	-	-	-	-	-	-	-		
部材工作							C	C	D W	43 (46)	17 (42)	11 (39)	-	-	-	-	-	-	-		
クレーン製作	CDW				M		M	M		66 (96)	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
仮屋根工事			- -	- -	- -		S	-	-	36 (24)	15 (18)	36 (37)	55 (43)								
定盤設置工事	- - -		S P							76 (47)	4 (3)	-	12 (10)								
電気関係工事			T ケーブル					ケーブル		-	16 (14)	1 (3)	1 (3)								
その他工事ほか			- -						T A 特別講義	11 (17)	12 (17)	7 (14)	76 (17)								
【記号】C ; 溶接またはコンクリート打, D ; せん孔, E ; 土工事, F ; 割ぐ h 石工事, M ; 熊手, まな板は機械加工, P ; 油圧, R ; 修正, S ; 鋼管加工									小	計	385 (27)	150 (61)	98 (51)	845 (52)							

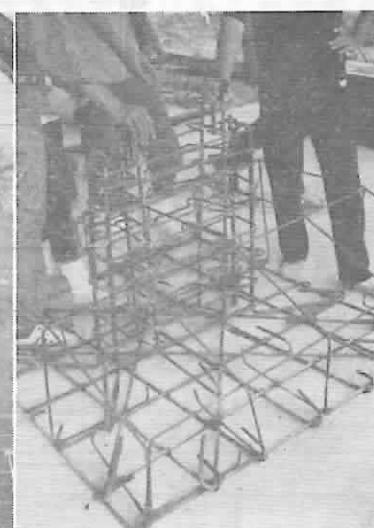
〔記号〕 C ; 溶断またはコンクリート打, D ; セン孔, E ; 土工事, F ; 割ぐ
り石工事, M ; 墓だしましたは機械加工, P ; 裝塗, R ; 正修正, S ; 鉄筋加工
または設置作業, T ; 檜検査, W ; 緊密化, X ; 実習完了項目



写真B 工作場定盤を設置するための鋼製枕取付け作業

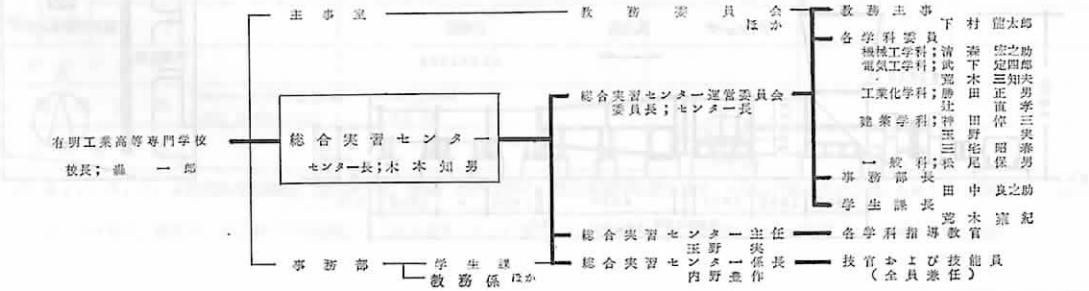


写真C 完成した工作場定盤
上でのけ書き(はり)



写真D 工作場での独立基礎の鉄筋組立作業（F2基礎）

図-4 総合実習センター組織図



機械工学科

西田真君 43機 昨年末より腸の具合が悪く、3月に手術、現在自宅療養中、この秋には仕事に復帰する予定。今後の御健闘をお祈りします。◎869-43
熊本八代郡東陽村大字河俣3265 TEL096565-505
荒牧三洋君 51機 □東洋運搬機KK 滋賀製造事業部生産技術課 ◎523 滋賀県近江八幡市馬淵町岩倉、岩倉寮
岩山正光君 51機 □日鉄プラント設計KK ◎804 北九州市戸畠区大字中原46番地59
上野茂君 51機 □川崎重工業KK 神戸工場 ◎652 神戸市兵庫区東山町3-2 東山寮
久保博君 51機 □ナショナルマイクロモーターKK ◎683米子市旗ヶ崎794-3 平谷いと様方
坂口英治君 51機 □KK大橋商会 ◎810 福岡市中央区薬院二丁目3-41
田中普策君 51機 □KKジャルコ ◎222 横浜市港北区太尾町1303 TEL045-531-4681
中友恒男君 51機 □KK山本工作所製缶部工程掛 ◎804 北九州市戸畠区東大谷三丁目大谷寮 TEL881-7653
前田晃君 51機 □末吉工業KK ◎362 埼玉県北足立郡伊奈町小室4837-4 末吉工業KK寮
敏輔君 51機 □日鉄運輸KK ◎805 北九州市八幡東区枝原一丁目1-2
松尾秀司君 51機 □相和機工KK ◎803 北九州市小倉北区中井一丁目37-11
吉川治雄君 51機 □三菱化成工業KK 黒崎工場施設部機械技術室 ◎806 北九州市八幡西区青山一丁目 三菱化成皇后崎寮

電気工学科

7月15日に「リニアモータについて」というタイトルで、九州大学野中作太郎教授による特別講演がありました。スライドによって各国の高速鉄道の開発概況を紹介し、我国の研究の現状と将来の展望、問題点を述べられました。
久保徹君 46電 □正福汽船 ◎104 東京都中央区日本橋室町3-4 JPビル

工業化学科

石橋伊望君 51化 ◎581 大阪府八尾町二俣 418
新田セラチンKK新和寮
江崎昌昭君 51化 ◎835 福岡県山門郡瀬高町大

教室通信

宇大江 182の2
金栗敦子君 51化 □大阪水素工業KK ◎660 兵庫県尼崎市北城内77 森本タミ子様方
北原雄二君 51化 ◎640 和歌山県和歌山市松江920の7
木下実君 51化 ◎800-03 福岡県京都郡苅田町大字尾倉
木下善之君 51化 ◎535 大阪市旭区中宮1丁目11-12
関西染工KK社員寮
福原隆明君 51化 ◎183 東京都府中市住吉町3の44の2 住吉寮
藤木隆幸君 51化 ◎350-13 埼玉県狭山市新狭山2丁目21の6 狹山寮
松藤照茂君 51化 ◎607 京都市東山区東山科北花山河原町27-13
豆田和也君 51化 ◎144 東京都大田区東横谷1の9の9 理研ビニル工業清和寮
南忠義君 51化 ◎538 大阪市鶴見区安田町11
西宮正澄君 51化 ◎804 北九州市戸畠区西鞘ケ谷町21の2 鞘ケ谷寮
丸井良信君 51化 ◎802 北九州市小倉北区三郎丸2丁目10-16 さつま荘
永浜康隆君 44化 □北九州天龍創作社(株) TEL802-小倉北区三郎丸3丁目12-15 TEL093-931-0064
○807 八幡西区陣の原4丁目 TEL093-601-6315
幾田英樹君 51化 □ブリヂストンタイヤKK ◎222 横浜市戸塚区柏尾町150-7 B.S.柏尾青年会館
古賀幹雄君 45化 勤務先変更 Brigetone Iran Co. Ltd P.O. Box 103 Shiraz, Iran

建築学科

野下裕司君 48建 (株)熊谷組に入社して三年目海外勤務になりました。7月6日、シンガポールのベアリング工場の現場の勤務になり日本を発ちました。
連絡先 KUMAGAI-GUMI, Co.LTD
23, Merino Crescent Singapore-3
来校卒業生諸君、河原正明 51建 (東亜鉄工)、北村彰、51建、(新日鉄)、板井岳宏、51建、(電々公社)山下信行、51建、(福岡市役所)杉本清昭、51建、(黒川建設)、大津春記、51建(江口組)、今年の卒業生ですが、元気な姿を見せました。
佐藤繁子君、49建、積木ハウス福岡支店に勤務していましたが、大牟田市白川の展示場に配転になりましたが3月から大牟田の現場の勤務になっています。

球技大会



学寮だより

わが岱明寮では、六月二十日に偏例の寮生出身地別対抗の球技大会を行なわれた。ソフトボールは前夜の雨のため戻れながら中止したが、バレーボールと卓球が、佐賀チームの多良良君による力強い選手宣誓で開始され、定期試験直後であって、対抗意識に於て、体育館に武道館に気合のいい声が飛び交い、青春の火花が散った。競技に参加できない者のためには、二人一组で耕運機でリレーを行なう特別競技を設けた。みんな賞品に対する闘志はすごい

各チームは团长を中心、全員が参加し

た声が飛び交い、青春の火花が散った。

競技に参加できない者のためには、二人

チームの多良良君による力強い選手宣誓で

開始され、定期試験直後であって、対抗意

識に於て、体育館に武道館に気合のいい

声が飛び交い、青春の火花が散った。

競技に参加できない者のためには、二人

チームの多良良君による力強い選手宣誓で

開始され、定期試験直後であって、対抗意

識に於て、体育館に武道館に気合のいい

高専体育大会報告

第13回、九州A地区高専体育大会は予定通り、7月21日より二十五までの五百回、当校の北九州高専、佐世保、久留米、有明高専で、種目を分散して挙行されました。

本校学生、教職員の参加ならびに宿泊のために便宜をはかつて下さいました北九州、佐世保、久留米高専の関係者と同様に、この紙面を借りて、厚くお礼申し上げます。また本校関係教職員のみなさまなど苦勞さまでございました本校は、また、昨年に続いて、剣道団体がA地区優勝を飾り、全国大会へ闘志満々です。

しかし昨年も言つたように、力量、勝敗は紙一重のものがほとんどでした。同時に、この紙一重が実は大きな障壁なのかもしれない。これを乗り越えた剣道部員は以下の激しい練磨のまゝのであると思います。また、他の準優勝になった部は、来年は優勝するのではないかでしょうか。

それから、軟式庭球、陸上競技の三段跳、砲丸投、円盤投の個人が全国大会に参加します。

△陸上競技(優勝、佐世保)

砲丸投 一位 城山繁利

三段跳 一位 坂本誠

△バスケットボール(優勝佐世保)

有明 68-49 久留米

△硬式野球(優勝、佐世保)

佐世保 2-0 有明

△サッカー(優勝、久留米)

久留米 4-3 有明

△バスケットボール(優勝佐世保)

有明 65-63 北九州

△軟式庭球(優勝、佐世保)

佐世保 83-67 有明

△卓球(優勝、北九州)

佐世保 3-0 有明

△柔道(優勝、久留米)

久留米 3-0 有明

△水泳(優勝、久留米)

久留米 2-1 有明

△800m自由型

有明 0-0 北九州

△久留米高専

鹿児島高専 6チーム

久留米高専 6チーム

△高専高専

鹿児島高専 1チーム

久留米高専 1チーム

△都城高専

四チーム

△佐世保

3-3 有明

△剣道(優勝、有明)

有明 6-1 佐世保

△久留米

6-1 北九州

△佐世保

2-1 佐世保

△サッカー(優勝、久留米)

有明 2-1 佐世保

△バスケットボール(優勝佐世保)

有明 0-0 北九州

△硬式野球(優勝、佐世保)

有明 0-0 北九州

△久留米Cチーム

鹿児島Dチームと併せ

△久留米

4-1 有明

△佐世保

2-0 有明

△久留米

4-1 有明